五十嵐ゆうこの米国小売業最新レポート

2023 年 1 月 20 日

CES 2023

2023 年の CES（後半）

CES(Consumer Electronic Show)レポートの後半です。

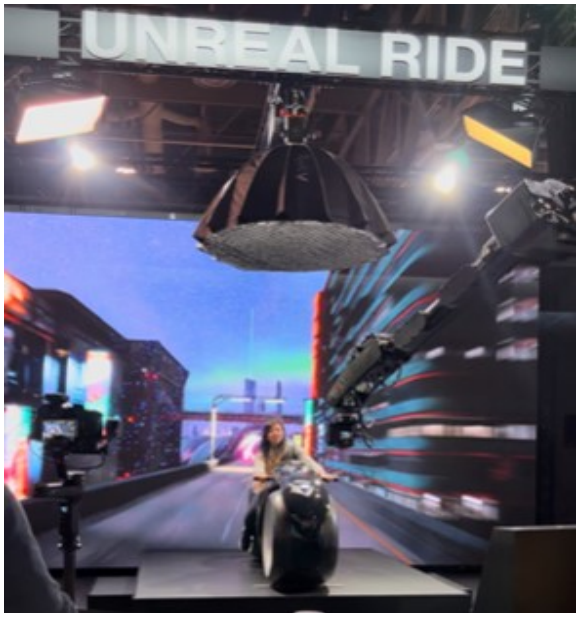
　展示会 2 日目にセントラルパビリオンと新しく追加されたウエストパビリオンを視察しました。

　CES の目玉の 1 つといえば、VR や AR を駆使したゲーム関連です。

スクリーン映像はとても鮮明で、遊んでいる本人にだけにサウンドはピンポイントで伝わるので、イヤホンを使う必要も無くなりました。

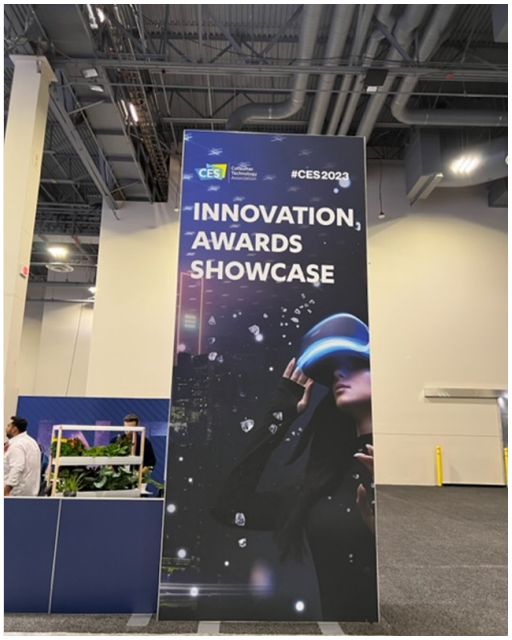
ヘッドギアも軽量になり、または眼鏡タイプへと移行しつつあります。
両手や身体に装着し、ゲームをしながら臨場感を味わえます。

下の写真はバイクにまたがるだけで風が吹き、映像がバックに映し出され、それをロボットが撮影して躍動的で迫力のあるアクションシーンを作り出していました。



ロボットアームの動きもスムーズで人間以上の視覚を備えたレンズを装備することによって繊細な仕事をこなすようになってきています。

次はウエストパビリオン移動し、CES2023 年度のイノベーション受賞したコーナーに来ました。



展示会で受賞したこの美容化粧品メーカーのロレアル社開発のアームですが、身体に障害を抱えてしまったり、高齢化で手足が震えたりする等の症状を持つ方が、このコンピューター内蔵のメーキャップ用アームを使用することで健常者同様に口紅やマスカラを塗る等、細かな作業を正確に行うことが可能となります。

歯科医と共同開発した　“歯にたった 10 秒かぶせるだけで磨き残しなく、綺麗にすることができる”　Y-Brush を個人的に欲しいと思いました。

下記は両足に装着し、レジや受付などの長時間の立ち仕事の足のサポートにもなります。

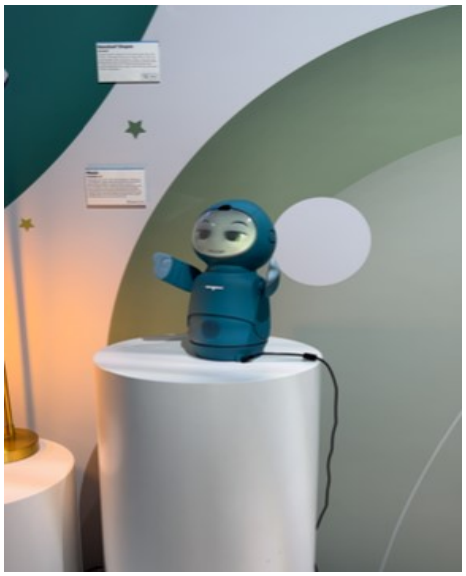
価格帯もセットで約 30 万円となっており、すでに実用化されています。
私も片足部分を装着してみましたが、非常に安定感を感じました。

写真のスマートショッピングカートも既に実用化されており、レジを通らずに会計を済ませる事はもちろんですが、ハンドルを握ることによって体内に不足している栄養素もしくは偏りを判断し、店内でのショッピング中に必要な生鮮食料品と必要量を推奨する機能を持っています。

実は Amazon のグロサリーストアチェーン Amazon Fresh で実用化されているスマートカート Dash Cart の人気は出始めの頃だけで、カート自体が重くて取り扱いが不便であったことやカートのカゴの容量も少なく利用者は減少しています。

Whole Foods を始めとした健康をキャッチフレーズにするスーパーマーケットの店舗にこのシステムが備えてあれば、好んで利用する消費者がいるのではないかと思いました。

CES で最後にご紹介するのはこのかわいいロボットです。
最初、かすかに体を揺らしながら眠っており、起動させるかタイマー設定をしておくと自動的に起きます。



ロボットへ問いかけを行うと、返事だけでなく逆に質問をされてどんどん会話を続けることができます。
最初の会話は少しスローテンポですが、暫くすると 10 歳くらいの子供が話すように進化成長します。
ちなみにこのロボットは天文学について詳しく、子供と会話を交えながら宇宙についての知識を自然に学べるそうです。

CES 視察終了後はロスアンゼルスへ移動し、Amazon Go の郊外型新店舗や DX を駆使したショッピングスタイル Amazon Style などのご案内をさせて頂きました。

シメは、プライムリブを今年で創業 101 年をむかえる Tam O Shanter で頂きました。

プライムリブでは有名な Lawry's とは姉妹店なのですが、実はここが本家です。

近隣にウオルト・ディズニー氏のスタジオがあり、ディズニー氏は一日おきにランチかディナーで通い続けた、いわゆる彼のサラメシ店です。

他のお客様がお食事されていたので写真撮影はできませんでしたが、彼が生前に座っていた指定席 31 番に彼の名前が刻まれたプレートがあるそうです。

この Tam O Shanter は、ロスアンゼルス訪問の際には是非一度お試しいただきたいお勧めレストランの 1 つです。

参加された皆様は口を揃えて、お肉はとろけるようで量の多さも気にならないと絶賛でした。

ほら　写真には、美味しい　と書いてありますね。

ご参加の皆様はお疲れの様子も見せず、最後まで元気に過ごされ無事帰国されました。

来年 2024 年の CES で、どのような形に進化したテクノロジーを体験できるのかと想像するだけで今からワクワク致します。

今年は、米国小売業でもロボットを含む AI の実践化が更に拡大することになると予測されています。

その変化をこのレポートでもアップデートできるよう　五十嵐ゆう子は、益々頑張ります！